

## ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立義務教育学校 玉湯学園 後期課程		
学年	主な教科等	主に関わる 単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
7	総合	松江研修	姫ラボ 角 幸治さん玉湯公民館 橋 弘章館長、松江市役所・商工企画課 山田 妃佳里さん、・産業経済部 新産業創造課 鶴島 祐介さん、・観光部 観光振興課 佐藤 優衣さん、・文化スポーツ部 文化振興課 木村 志成さん 玉湯支所地域振興課 武田芳治
ねらい		○自分たちの住む松江の歴史や文化、伝統、特産物等について調べ、実際に詳しい方へのインタビュー活動や体験活動を通して、ふるさとに関する知識を深め、その魅力を発見する。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習として、講師の方に来ていただき松江のことや玉湯のことについて話をいただいた。「観光客が減少していた玉湯をどう盛り上げていったのか」「松江にはどんな歴史・文化・伝統・特産物等があるのか」について、それぞれ講師の方にお話しいただき、改めて松江や玉湯について詳しく知り、興味を持たせることができた。</li> <li>実際の研修では、調べたいテーマに沿ってグループを組み、公共交通機関を使いながら研修を行った。訪問先ではインタビューや体験を行い、地域の方から松江の魅力について学ぶことができた。計画から訪問依頼、研修まで生徒主体で進めることで主体的に課題解決に取り組むことができた。</li> <li>研修で学んだことをグループでスライドにまとめたり、個人で新聞にまとめたりした。スライドの発表には、事前学習に来ていただいた講師の方々にも参加していただき、学習の成果を地域の方にも知っていただく機会とした。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとを盛り上げるために働く方々から話を聞き、松江の産業や文化について知ることで、ふるさとへの愛着や誇りを持つことができる。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさとの魅力について講師の方々から専門的な内容を正確にわかりやすく生徒に伝える。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生で松江城授業プロジェクトを行い、松江の歴史について学習している。松江研修はさらに視野を広げ、松江市の歴史や文化、伝統、特産物等にまで触れることによって、よりふるさとへの興味が増していた。また、興味のある分野について研修を行うことで、積極的に活動に取り組むことができた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールとしてスライド発表と新聞づくりを設定したことで、研修をして終わりではなく、人にわかりやすく伝えるためにはどうしたらよいか考えながら活動することができた。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習は必要だが、講師の方に来ていただいたテーマに生徒が集中しがちであった。事前学習をさらに有効にするために、色んなジャンルの講師の方に来ていただけると良い。</li> </ul>			

